

# DE す が ね

1周年記念特別編集号 (2013年2月 No7)

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会



(写真：プレゼンに熱が入る内山さん)



(写真：見事、10周年記念イベントに選出)

## 周南市誕生10周年記念事業プレゼンテーション

周南市誕生10周年記念行事のプレゼン大会が、徳山大学で行われ、生きがいのある須金をつくる会が「須金ReBORNプロジェクト」として、循環づくり、ゆるやかな関係づくりを進めて、人・地域・自然の再生（リボーン）を図る提案で参加しました。

概要は、須金の資源を活かした2つのイベント（「農ganic Festa」「ほたるのすがね」）の中で、須金の皆さんの他、出身者や応援者などにオリジナルステッカーを配布し、自家用車等に貼ってもらいながら、結・縁（リボン）を創っていくというものです。

多数の応募の中から一次審査を通過し、二次審査へと進みました。二次審査は市内の強者揃いでしたが、コミュニティ会長内山浩昭さん扮するスティーブ・ジョブズのものまね、アップル社やTOYOTAのロゴマークを上手にパロディしたデザイナー大木さん、かっこいいスライドショーをつくった映像クリエイター須田さん、台詞とシナリオは市内最高の公務員周山さん、そして総合演出家福田陽一で作り上げたプレゼンテーションで見事、50万円をゲットしました！

更にパワーアップする、今年の「農ganic Festa」と「ほたるのすがね」に乞うご期待！

(文／福田陽一)

## Q 1) 子供の頃はどんな子でしたか？

A 1) 祖父母、両親に本当に可愛がられて育ちました。大きくなったらお姫様になりたかったり、なあ～にも考えてない、我が儘な子供でしたね。

Q 2) ご主人さんと初めて会った印象を聞かせてください。

A 2) 見たことない人じゃけど、ちょっとかわいい。でも私より年下よね、っていう感じだったかな？

Q 3) 農園経営で大変なこと、また楽しいことは何ですか？

A 3) 遠くから園を目ざして来て下さるお客さんに満足して帰って頂けたときと、あと、ぶどう作りそのものが楽しいですね。大変なことは主人に引き受けてもらっています (笑)

Q 4) お孫さんが誕生されましたね。まり子さんにとってどんな存在ですか？

A 4) 「なんでこんなに可愛いのかよ！孫という名の宝もの」ですね。自分で子育てするときには気付かなかったことに気付かされたり、生命の不思議を感じさせてくれる存在でしょうか。

## 人物紹介 広実まり子さん (上市)



写真上：スマホに夢中のご主人文博さんと  
写真下：昨年の発送作業

(インタビュー：須金公民館 周山健太郎)

## ★福祉コーナー★ 《悪徳商法に気をつけて！》最近の事例を紹介します

例 1) 男性が「お宅の消火器が1年過ぎたので交換しに来ました」と突然訪問。

<注意点>

- ・一般住宅に消火器の設置義務や交換頻度などに関する決まりはありません。
- ・設置や交換の判断は、すぐに決めないで、誰かに相談し良く考えて行いましょう。

例 2) 魚介類を扱う業者から電話がありその時は断った。

承諾してないのに、その後、代引きで実際にカニ等が送られてきました。

<注意点>

- ・承諾してないので、受け取り拒否しましょう、支払う必要はありません。
- ・クーリング・オフ（消費者を守る制度）が訪問販売と電話勧誘販売で利用できます。
- ・期間は、申込書面または契約書面で8日間です。
- ・通信販売、TVショッピングには、クーリング・オフ制度はありませんので注意。
- ・クーリング・オフの手続きは、書面で郵便局の窓口で行います。
- ・記入事項が多いので、まずは周南市消費生活センター（22-8321）に相談を。

(文/須金地区民生児童委員協議会 広実文博)

## 特別寄稿「DEすがね」1周年記念メッセージ

地域コミュニティ誌「DEすがね」が発刊1周年を迎えました。これもひとえに、読者のみなさん、須金を応援してくださっているみなさんのおかげです。これからも、小さな地域情報誌ではありますが、みなさんに愛される誌面作りにスタッフ一同励んでいきたいと思ひます。

さて、今回は発刊1周年にあたり、須金出身者や須金を応援してくださっている方からメッセージをいただきましたので、誌面にて紹介させていただきます。

中学卒業から、今春ちょうど50年です。100名を超えていた同級生の現住地は、周南市(40)、下松、光、防府、岩国市錦町で(20)、周南市とその周辺で過半数、多くが何らかのつながりを持つてきたことが判ります。数年前の同窓会、出席いただいた小1の時に担任の松原麻子先生に、「小1から50年近くたって、突然ですが、名前お分かりでしょうか？」と質問。すると、「あなたは、今田明子ちゃん、長谷だった」という風に、教え子15名全員を完璧に言い当てられ、みんな「大感激!」。一生懸命だったからこそ、往時の記憶を呼び戻すことができるのでしょう。

須金出身者が、地名に敏感に反応し、ふるさとが元気であってほしいと心から願うのは、先生に加えて、地域の人々から育てていただいた、という思いが染み付いているからだと思ひます。その故郷の元気を担って、頑張っているみなさんに感謝申し上げます。

有吉政博

(生活協同組合コープやまぐち理事長・周南市在住)



「DEすがね」楽しく読んでいます。昨秋、大津島のコミュニティ誌「潮流」を新しくするに際し、市内の数多いコミュニティ誌を一通り調べてみました。すると、大きなところのそれはチットも面白くなく、人口の少ないところの方が、読んで楽しいことに気がきました。前者は域内のお知らせばかりで、いわば閉鎖的ですが、後者は外に向かって発信しようという姿勢が見えるからです。

(写真：誰もいない海...秋の大津島・刈尾海水浴場)



なかでも「DEすがね」は内容豊富な出色の出来で、新しい「潮流」のために大いに参考にさせて戴きました。交流の深い須金と大津島です。年1回くらい両誌の編集委員で合評会をやったら面白いのでは、などと思ひています。

末兼正純 (潮流編集委員・大津島在住)



『DEすがね』創刊1周年おめでとうございます。亀山八幡宮の宮司に就任して、早7年目を迎えました。お祭りの折々や総代さん方との会話の中から、少しずつ須金の様子を吸収して来ましたが、まだまだわからないことだらけです。よって「須金の今」を伝えてくれる貴誌を楽しみにしています。



昨年にはお陰様で、懸案の本殿屋根修復を無事に終えることができました。心から感謝致しますと共に、須金の皆様の郷土愛や連帯感を深く感じた次第です。神社は地域共有の財産であり歴史です。みんなで大切に次代へ伝えてまいりましょう。

黒神直大  
(亀山八幡宮宮司)

創刊1周年、おめでとうございます。農業派米研修の事前講習として、三重県から福田フルーツパークにて研修している前川元之介です。

昨年の4月より約10ヶ月、ここ須金で生活をさせていただきました。日々の研修は初めてのことばかりで、失敗してしまうこともありましたが、須金の人達の温かさのお陰で、今まで楽しく研修ができました。地域の行事にもたくさん参加させていただき、一生の思い出ができました。

研修も残り僅か。最後まで気を緩めず、精一杯頑張りたいです。そして、無事アメリカでの研修を終えたら、いつの日か、また皆さんに会いに須金に来たいと思います。

皆さん、それまでお元気で！短い間でしたが、本当にありがとうございました。



## 須金の里ひまわり会が「ふれあい配達」を行いました

須金の里ひまわり会では、毎月第2日曜日に高齢者が集える場として「それーねの日」を開催しています。しかし、須万市以外の方は交通の手段がなく、なかなか参加ができないという課題もあります。そこで、昨年12月8日（土）、9日（日）に、山口県立大学看護栄養学部の学生と一緒に、年末の見守りも兼ね、クリスマスケーキを作り自宅まで届ける「ふれあい配達」を行いました。

当日は、雪が降る中4班に分かれて、75歳以上のお一人暮らしのお宅およそ20軒に訪問しました。

皆さんとても喜んでいただき、学生たちもとてもいい経験になったようです。

今年も、地域の皆さんがお元気で過ごせる年となりますように。

(文／周山健太郎)



(配達用のケーキ作り)



(ケーキにはメッセージも添えて)



(当日は大雪になりました)



(県大生と一緒に訪問配達)

## WELCOME! SUGANE!

大木賢一さん(42歳)が、中市に引っ越して来られました。大木さんは、これまで須金のイベントの手伝いなどを行っている内に、須金の魅力に惹かれ、ここに住むことを決められました。趣味はギターと和紙工芸、好きな食べ物は焼き肉とお酒、職業はグラフィックデザイナーさんです。

皆さん、よろしくお願ひします！



(見かけたら気軽に声をかけてください)



## 須金地区主な行事予定（2～3月）

### 2月

- 2月1日（金）市県民税申告相談  
やまびこ号巡回日（須磨小）
- 2月2日（土）和紙絵展（～2/12）
- 2月3日（日）クリーン大作戦 8:30～  
人権教育講演会 10:30～
- 2月10日（日）それーねの日
- 2月12日（火）自治会長集会
- 2月19日（水）やまびこ号巡回日（須磨小）

### 3月

- 3月6日（水）やまびこ号巡回日（須磨小）
- 3月10日（日）それーねの日
- 3月18日（月）コミュニティ理事会
- 3月19日（火）小学校卒業式
- 3月23日（土）やまびこ号巡回日（須磨小）

### 「DEすがね掲示板」

★賃貸可能な空き家ありませんか？人が住まない家はすぐに傷みます。公民館まで連絡をお願いします。

★特定健診を受けましょう。今年度から自己負担額が半額の1,000円となっています。

（2月28日まで）

お問い合わせは須金公民館 周山（すやま）まで

TEL 0834-86-2201 / FAX 0834-86-2145

須金せせらぎ短歌会～今月の一首～

再びの総理の席に安倍さんは  
覇気の漲りかがやきて見ゆ

舞田 福恵

### ※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報紙は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



## 特別連載 須金歴史探訪

捨山の一里塚

文 高橋 勝己

須万「捨山の一里塚」は、萩の松本より17里、安芸の国境（美和）亀尾川より6里16町にあります。

一般的に一里塚が全国的に整備されるようになったのは江戸時代で、慶長9年（1604年）に幕府は日本橋を起点として、全国の街道に一里塚を設置するように命令し、10年ほどで完了したとされていますが、捨山の一里塚は慶安元年（1648年）にたてられました。ちょうどその頃、山代街道が整備されたこととなります。

山代街道は、萩札ノ辻から福井、大山、地福、柚木、佐波河内、鹿野、金峰、須万、広瀬、本郷、を経て亀尾川に至る全長24里28町の道で山間部を通っていました。萩往還に対し、山代街道のことを山代往還、あるいは奥往還と呼ばれていました。

須金の一里塚は長谷に現存もし、朴にもありましたが今は確認できません。



写真：昭和40年頃の捨山の一里塚

### 編集後記

創刊から1周年を迎えました。皆さん、これまでのDE すがねを読まれていかがでしょうか？是非、いろいろなご意見やアドバイスをいただき、よりよいコミュニティ誌にしていければと思います。そして、これからも一層コミュニティ活動にご参加いただき、“生きがい”のある須金をつくっていきましょう！（周山健太郎）